

第38回日本血液事業学会総会 プログラム

テーマ：「明日への進化」—地方からの挑戦—

総会長 日本赤十字社中四国ブロック血液センター
土 肥 博 雄

会 期 平成26年10月29日(水)～31日(金)

会 場 広島国際会議場
広島市中区中島町1番5号(平和記念公園内)
TEL: 082-242-7777 FAX: 082-242-8010
URL: <http://www.pcf.city.hiroshima.jp/iech/>

講演会場 第1会場 フェニックスホール
第2会場 国際会議ホール「ヒマワリ」
第3会場 中会議室「コスモス」
第4会場 小会議室「ラン2」

ポスター会場 会議運営事務室 ①～⑥

企業展示 大会議室「ダリア」

企業展示ミニセミナー 小会議室「ラン1」

学会総会本部 楽屋 ②
(会期中)

学会総会事務局 広島市中区千田町2丁目5-5
日本赤十字社中四国ブロック血液センター企画課内
TEL: 082-241-1611 FAX: 082-241-1511
<http://38jbp.org>

第38回日本血液事業学会総会の開催にあたって

総会長 日本赤十字社中四国ブロック血液センター 土 肥 博 雄

第38回日本血液事業学会総会を平成26年10月29日(水)から31日(金)の3日間、広島国際会議場で開催させていただきます。

広域事業運営体制も3年目を迎え、血液事業情報システムや個別NATが導入され、製剤自動化の導入も今年度中に予定されています。

一方、血液事業を取り巻く環境としては、少子高齢化の進行による将来の血液不足が予想され、若年層献血者確保対策が喫緊の課題となっているほか、iPS細胞を活用した再生医療や血漿分画事業でも新たな取り組みが始まっています。日本血液製剤機構も設立後2年目に入り、次第に充実するなか、従来分画製剤の情報提供が大きな部を占めていたMR活動においても新たな考え方と取り組みが進んでいます。骨髄バンクや臍帯血バンク事業においては、「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」の成立に伴い、日本赤十字社が唯一の支援団体となり新たな段階へと歩みを進めているところです。

これら血液事業を取り巻く環境の変化に対応し、より安全な血液を安定的に供給するための事業の発展と継続は、当学会において永遠の命題であります。

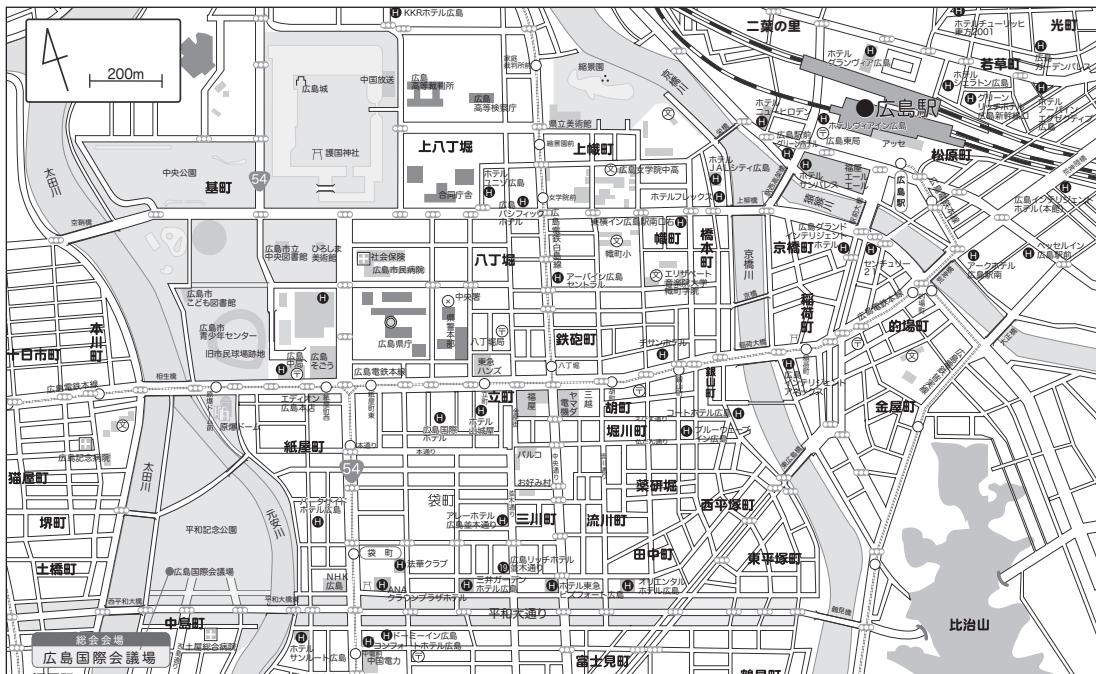
今回の総会は、「明日への進化」—地方からの挑戦—をテーマに掲げ、日本全国で血液事業に携わっておられる方々の日々の活動に焦点を当てた特別企画も提案させていただきました。今回の特別企画では、一般演題よりテーマにふさわしい取り組み12題について、「地方からの挑戦」という特別枠としてご報告いただき、活発な討論が交わされると期待しているところです。

特別講演では、京都大学iPS細胞研究所副所長であります中畠先生や広島大学大学院の越智教授をはじめ、広島赤十字・原爆病院の許先生など著名な先生方に、最先端の研究から臨床における現状まで、様々な立ち位置から見た血液事業についてご講演いただくこととしております。

また、地元広島県のトップ企業でありますマツダ株式会社様にご参加いただき「信頼される製品の実現と品質保証」と題したシンポジウムを企画させていただきました。その他にも様々なシンポジウムや教育講演、特別報告、ワークショップなど多彩な構成とさせていただいております。一般演題につきましては、288題と多数のご応募をいただき本学会総会に対する会員皆様の期待の大きさを感じております。

最後に、本学会総会が参加者の皆様にとりまして有意義な3日間となりますよう願っております。

会場および交通のご案内



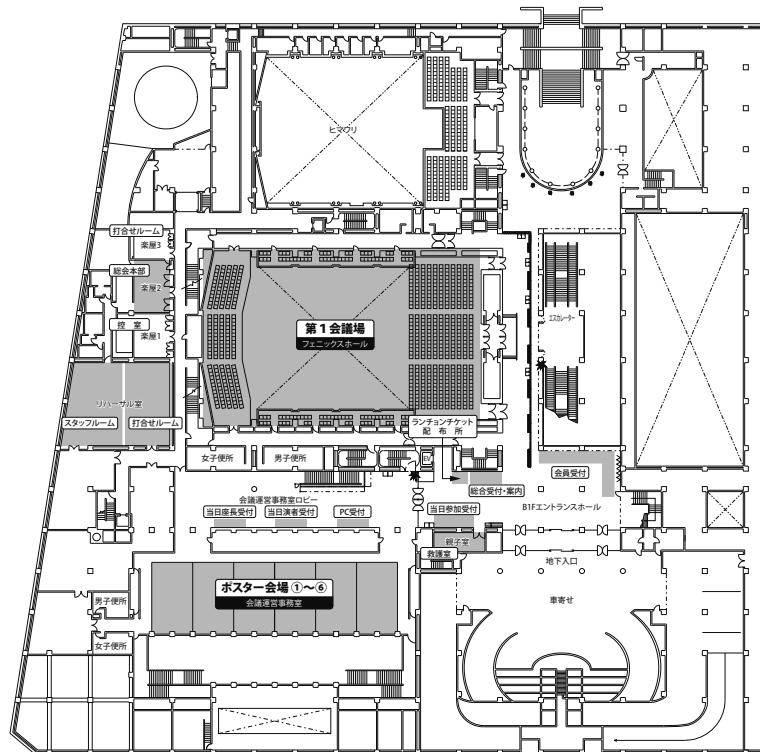
【アクセス】

○JR広島駅よりバスで「平和記念公園」下車すぐ

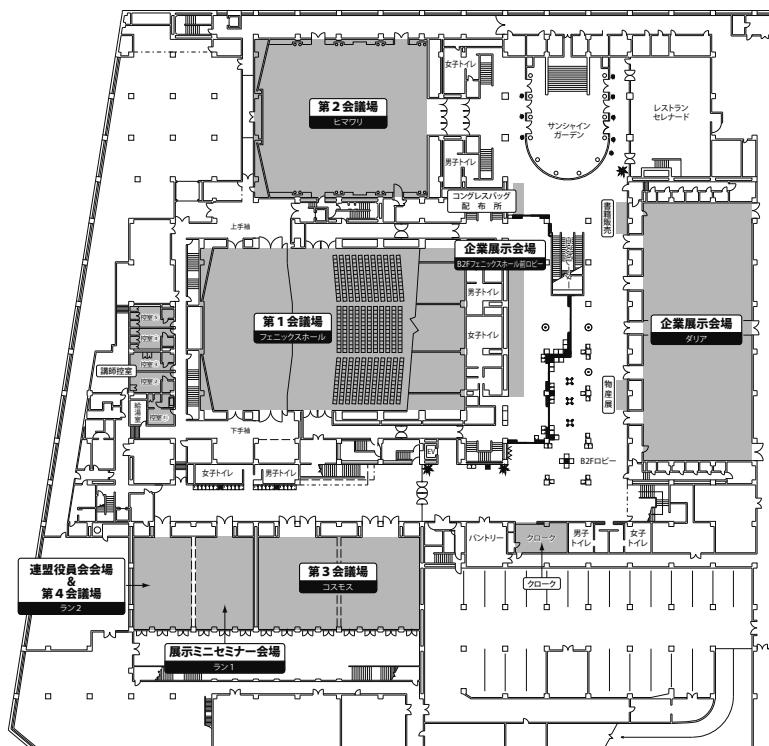
○JR広島駅より広島電鉄2・6号線「原爆ドーム前」または1号線「袋町」下車すぐ

○広島空港よりリムジンバスで「広島バスセンター」下車徒歩10分広島(宇品)港より広島電鉄5号線「袋町」下車すぐ

会場案内図



B1F



B2F